



- 花角新潟県知事にご視察いただきました[発電所ニュース]
- 「柏崎刈羽原子力発電所の透明性を確保する地域の会第269回 定例会(情報共有会議)」が開催されました[発電所ニュース]
- 「柏崎刈羽原子力発電所 核物質防護事案に係る改善措置評価委員会」による第6回会合が開催されました[発電所ニュース]
- 緊急時に備えて、様々な原子力防災訓練に励んでいます[発電所の一員として]
- おしえて!エコロン ● 東京大学医学部附属病院放射線科医の中川恵一特任教授に「放射線とがんの全て」というテーマで講演をいただきました
- サービスホール12月の催し

「朝霧の鯖石川」
柏崎市北条

花角新潟県知事にご視察いただきました

11月14日、新潟県の花角知事に柏崎刈羽原子力発電所をご視察いただきました。当日は、過酷事故を想定した訓練をご覧いただいた他、建屋へ入域する際には、生体認証などの核物質防護対策をご確認いただきました。

視察終了後、知事からは「前回視察時に比べセキュリティは格段に厳しくなっていた」「視察中もあいさつが飛び交っていて、働く方々の円滑な意思疎通ができていると感じた」といったお言葉を頂戴しました。

当社は引き続き、原子力発電所の安全性のさらなる向上に取り組み、信頼される発電所を目指してまいります。



↓当日の様子はこちらからご覧いただけます

花角新潟県知事
ご挨拶



視察の様子



社長 小早川の
取材の様子



「柏崎刈羽原子力発電所の透明性を確保する地域の会 第269回 定例会（情報共有会議）」が開催されました

11月12日、柏崎市産業文化会館にて、地域の会委員の皆さまと当社、国や県、立地自治体による意見交換がおこなわれました。当社に対しては、柏崎刈羽原子力発電所の状況や、安全性に関する理解活動についてご質問・ご意見をいただきました。

社長の小早川からは、発電所の安全の観点から「発電所で働く6,000人以上の仲間がワンチームで、発電所のパフォーマンス向上に努めているところ。改善に終わりはなく、さらなる安全の高みを目指して取り組んでいく」とお伝えしました。

今後も、皆さまのご意見を伺いながら安心・安全の確保に向けた取り組みを進めてまいります。



社長 小早川の
取材の様子



「柏崎刈羽原子力発電所 核物質防護事案に係る改善措置評価委員会※」による第6回会合が開催されました

※当社の「改善措置を一過性のものとししない取り組み」について、外部の独立した立場や専門的知見から客観的な評価をおこなっていただく委員会。

11月11日の会合では、発電所で働く意義・目的の理解と醸成に向けて、「①発電所で働く人・組織の自律性」「②セキュリティとセーフティの持続的な均衡」「③“知りたいこと”が伝わるコミュニケーション」の3つの視点から、当社の取り組みをご指導・ご助言いただきました。

【当社取り組みの一例】

- ①人身災害発生時の現場合同検討会や、リスクを潰しこむための現場確認など、協力企業の皆さんとともに現場把握力を高める取り組みを展開しています。
- ②発電所入構時の車両渋滞の緩和のため、車両積載物の点検において、不必要な物品の持ち込みを減らすことや、運転手が能動的に警備員へ積載物を示す運用へ変更しました。
- ③コミュニケーションブースや発電所視察を通じた広聴・広報活動に加えて、新潟県の皆さまのご関心の高いテーマごとに、新聞広告、ウェブ(YouTube)広告、人口密集地を中心に、交通広告、デジタルサイネージなどを展開しています。



【委員会からの評価】

- ①東京電力と協力企業という立場を超えた自由な意見交換の雰囲気を確認した。一方で、協力企業の視点に立った対応への改善を期待する。
- ②変更された車両点検手順に則り、どの運転手も運転席から降りて積載物を自ら示しており、警備員の点検への協力姿勢を確認した。
- ③新潟県の方々の知りたいことをより探求し、丁寧にそれらの声をくみ取って効果的な広報活動の在り方を引き続き検討する余地がある。

〈総合評価〉

改革改善は定みなく不断におこなわれており、その成果もある。また、車両点検時に運転手が積載物を自ら示すなど、新しい取り組みを積極的におこなっている。各改善の取り組みを引き続きおこなってもらいたい。

第6回会合の様子



評価結果や指導・助言などをもとに、さらなる改善を進めてまいります



緊急時に備えて、 様々な原子力防災訓練に励んでいます。

発電所では、緊急時に
迅速に対応できるよう様々な
原子力防災訓練に励んでいます。
今回は6号機、7号機の
シーケンス訓練(10月)・
大規模損壊訓練(11月)を実際
におこなった社員に話を聞きました。

(2025年11月取材)

Profile

倉部 信行

柏崎市出身。柏崎市在住。2000年入社。
柏崎刈羽原子力発電所に配属。原子炉設備
の保全作業や、設備に生じる経年劣化の状
況を技術的に評価する高経年化評価業務
に携わり、2019年より現職に至る。
【柏崎市・刈羽村でオススメしたい場所】
西山自然体験交流施設ゆうぎ／屋根付き
のBBQ設備やオートキャンプ場があり、近
場で気軽にアウトドアが楽しめるのでお勧
めです。

戸田 康太

柏崎市出身。柏崎市在住。2014年入社。
柏崎刈羽原子力発電所に配属。入社から現
職である計装品の保全業務や工事監理を
担当。
【柏崎市・刈羽村でオススメしたい場所】
柏崎にあるゴルフ場／どのゴルフ場も見晴
らしがよいです。休日には家族でゴルフ場
に行き、景色を楽しみながらリフレッシュし
ています。

根立 弘美

福島県出身。柏崎市在住。1993年入社。
柏崎刈羽原子力発電所に配属。保全業務の
調達・予算管理に携わり、2019年より現職
に至る。
【柏崎市・刈羽村でオススメしたい場所】
柏崎・夢の森公園／広い園内に木々や池が
あり自然を満喫できる癒しスポットです。ま
た、自然体験でザリガニ釣りができます。息
子が小さい頃に一緒に釣りをした事が今で
も楽しい思い出として残っています。



東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所
第一保全部 原子炉(2・3号)グループ 第一保全部 計測制御(2・3号)グループ 第二保全部 環境施設グループ

くらべ のぶゆき
倉部 信行

とだ こうた
戸田 康太

ねだち ひろみ
根立 弘美

- シーケンス訓練／重大事故に至る事象に対して、想定時間内に役割通りの対応が実施できることを確認する訓練
- 大規模損壊訓練／航空機の衝突や大規模な自然災害により、原子炉施設に大規模な損壊が生じた場合を想定し実施する訓練

—訓練でのそれぞれの役割を教えてください。

倉部 シーケンス訓練で、重大事故時の原子炉格納容器の破損防止や使用済燃料プールの冷却機能を確保する役割を担いました。具体的には、①代替熱交換器車や大容量送水車、電源車などを津波の影響を受けない高台から6号機原子炉建屋付近まで移動、②原子炉格納容器を除熱するための配管接続、③代替熱交換器車を起動する訓練を実施しました。

②代替熱交換器車から原子炉格納容器を除熱するための配管接続をしている様子



戸田 シーケンス訓練で、淡水貯水池から展張車と消防車を使用して原子炉へ注水する役割を担いました。具体的には、①水源となる淡水貯水池から展張車を使って原子炉建屋にホースを展開、②建屋付近に準備した消防車と展張車のホースを接続、③消防車のホースを6号機、7号機の原子炉建屋の接続口に接続、④ホース展開後に水漏れがないことを確認、⑤淡水貯水池の水を原子炉へ注水するための訓練を実施しました。

①展張車を使って淡水貯水池から原子炉建屋にホースを展開している様子



根立 大規模損壊訓練で、原子炉への注水および消火活動の水源となる淡水貯水池の水を防火水槽へ補給する役割を担いました。具体的には、①5号機緊急時対策所から淡水貯水池へ徒歩で移動、②防火水槽へ送水するための弁を開ける操作、③防火水槽側の接続口まで徒歩で移動しながら送水するホースに破損がないことを確認、④防火水槽側の接続口にある弁を開け、淡水貯水池から送水されることを確認、⑤この接続口に送水ホースを敷設し、防火水槽へ補給するための訓練を実施しました。

⑤接続口に送水ホースを敷設している様子



—実際に訓練をおこなう中で、特に意識して取り組んだことがあれば教えてください。

倉部 繰り返し訓練を重ねているので作業手順は頭に入っています。それでも、全面マスクを装着しての訓練では毎回、意思疎通が難しいと感じる場面があります。配管接続時に重量のある配管を持ち上げる際はしっかりアイコンタクトを取り安全に対応します。

また、代替熱交換器車起動時は、起動スイッチを操作する側と海水を汲み上げるポンプを操作する側の隊員同士が離れた場所でやりとりするため、連絡を密に取り、相互確認により安全に作業ができるよう心掛けています。

戸田 事前に、消防車、展張車の運転方法、操作方法の確認や、手順書の確認、注水までの動線確認を複数回実施しました。その結果、目標時間内に原子炉の注水まで完了することができました。

また、訓練では過酷な状況を実際に再現するため、全面マスクや不織布カバーオールを装着します。お互いの声が聞きとりづらく、意思疎通が難しい状況なので、アクションを交えながらコミュニケーションエラーとならないように対応できました。

根立 決められた時間内に淡水貯水池の水を防火水槽へ補給できるよう、速やかな移動を心掛けました。淡水貯水池から防火水槽まで距離があり、体力も必要なので、常に体調管理に気を付けています。訓練当日は気温も低く、雨も降る中での訓練となりましたが、集中力を切らず対応することができました。

—柏崎刈羽原子力発電所で働く一員として、地域の皆さまへメッセージをお願いします。

倉部 万が一の場合でも安全に原子炉を冷却できるように力量の維持・向上に努め、地域の皆さまに安心していただけるよう今後も訓練に取り組んでまいります。

戸田 万が一の復旧活動でも落ち着いて行動できるよう、日頃から社員や協力企業の皆さんと意思疎通を図ることで信頼し合える関係構築に努めてまいります。

根立 原子炉を冷却するためには水源の確保が重要な役割です。今回の訓練のように、過酷な状況でも迅速に原子炉へ注水できるよう、日々訓練を重ねてまいります。

今回の訓練の様子



過去の訓練の様子



おしえて! エコロン



なぜ、原子炉は冷やし続ける必要があるの?



原子炉を安全に保つためには、「核分裂を止める」「燃料を冷やす」「放射性物質を閉じ込める」という3つの要素が重要です。今回は「燃料を冷やす」についてお答えします。

地震などにより、運転中の原子炉を緊急停止した直後は、原子炉の中は高温状態(約280℃)です。緊急停止により核分裂の連鎖反応を止めた後も燃料からは崩壊熱[※]が発生することから、燃料の損傷を防ぐために原子炉を冷やし続ける必要があります。

[※]核分裂反応によって生じた核分裂生成物(ウランなどが分裂してできた放射性物質)が放射線を出して安定した物質へと変化する現象を崩壊といい、その時に放射線のエネルギーが他の物質に吸収されて発生する熱を崩壊熱といいます。

柏崎刈羽原子力発電所では、「燃料を冷やす」手段として、建設時から「非常用炉心冷却装置」が設置されています。この冷却設備は、電動機駆動のポンプや原子炉の蒸気を駆動源としたポンプを用いて原子炉へ注水する設備です。

一方で、福島第一原子力発電所事故では、冷却設備を動かすための電源を津波により失ったことから、原子炉を冷却することができませんでした。

6号機、7号機では、この反省と教訓を踏まえ、電源をすべて失っても原子炉を冷却し続けるための対策を多様に講じています。

【注水対策】

●高圧代替注水系の設置

非常用炉心冷却装置が起動・運転継続できない場合、あるいはすべての電源を失った場合に、原子炉の蒸気を駆動源にしてポンプを回し原子炉へ注水します。この設備は、電源を失っても原子炉の蒸気があれば駆動できます。



●消防車の配備

原子炉建屋に接続し、原子炉や使用済燃料プールに注水します。同時に使用できなくなならないように、車両を分散して配置しています。



【除熱対策】

●代替熱交換器車の配備

既存の除熱設備が使えなくなった場合に、原子炉格納容器内を冷やす設備です。この設備を使用することで、万が一、原子炉の損傷に至るといった場合でも、「代替循環冷却設備」により約10日間は大気への放射性物質の放出を遅らせることができます。



「代替循環冷却設備」について詳しくは2025年10月号の「おしえて!エコロン」でご覧いただけます



発電所を安全に運営していくために、様々な対策に取り組んでいます

東京大学医学部附属病院放射線科医の中川恵一特任教授に「放射線とがんの全て」というテーマで講演をいただきました

中川特任教授からは、「放射能を累積で100ミリシーベルトから200ミリシーベルト受けた場合のがんリスクは1.08倍程度で、野菜不足(1.06倍)や受動喫煙(1.02倍～1.03倍)とほとんど変わらない」などのお話をいただきました。また、「安定的で安価な電力供給のため、また、日本経済と国民の健康を守るため、ぜひ再稼働していただきたい」とのお言葉を頂戴しました。



Webアンケートはこちら

添付のはがきのほかに、Webからでもアンケートにご回答いただけます。右の二次元コードからアクセスしてください。発電所に対するご意見・ご要望もご記入いただけます。



発電所公式 LINE アカウント

イベント情報やクーポンなどを毎月配信中!



きりとり線
✂



発電所公式 インスタグラム

発電所の日常や設備などについて、リール動画などで投稿しています!



❶ 発電所について、ご不明点やご質問がありましたらお聞かせください。

❷ 発電所運営について、感じていることやご意見がありましたらお聞かせください。

❸ 各種SNSで発電所の様子を動画配信していますが、どのような動画をご覧になりたいですか。(複数回答可)

- ☐ 発電所の状況 ☐ 安全対策設備について
☐ 社員の日常 ☐ 訓練の様子 ☐ イベント情報
☐ SNSを見ない
☐ その他()

■ 読者プレゼントに応募する

ご希望の方は右の欄に○をお付けください。



Webアンケートでご応募いただくと、当選確率がUPします。

※裏面のお名前、年齢、ご住所、電話番号を必ずご記入ください。
なお、ご記入いただく内容については、お間違いのないようお願いいたします。

サービスホール12月の催し

参加無料

工作教室

土・日 開催 9時～16時30分
※12時～13時を除く
(12月13日・14日はイベントのため内容が異なります)
3種類の工作をご用意♪
難易度に合わせて、小さなお子さまでも
楽しくチャレンジできます。



キラキラオーナメント



ゆらゆらツリー



クリスマスカード



サービスホール冬イベント

12/13^土14^日 【参加無料】
9時～16時30分

発電所構内見学ツアー



バス 当日予約 ●各回先着25名・各日4便〔予約受付は各便30分前締切〕
①10時～ ②11時30分～ ③13時30分～ ④15時～(ツアー時間:約60分)

ワゴン 当日申込 ●最大7名まで(状況により、相乗りになる場合がございます。ご了承ください)
●ツアー時間:約30分(受付順にご案内いたします。受付時間15時30分まで)

参加者全員が運転免許証、顔写真付きマイナンバーカードのいずれかをお持ちください。

- 未成年の方は身分証明書をお持ちの上、保護者と一緒に参加ください。●受付時は、参加者全員揃ってお越しください。
- 運転免許証、顔写真付きマイナンバーカードをお持ちでない方はご参加いただけません。
- マイナンバーカードが顔写真付きでない方や更新中の方は事前にお問い合わせください。
- 健康保険証やその他の証明書ではご参加いただけませんので予めご了承ください。

工作コーナー

●12月13日(土)

①アクリルツリー [9時～12時] (受付は11時30分終了)

②くまデコ [13時30分～16時30分] (受付は16時終了)

●12月14日(日)

①スノードーム [9時～12時] (受付は11時30分終了)

②クリスマスジェルボトル [13時30分～16時30分] (受付は16時終了)

※写真はイメージです。

各回先着
120名さま

お問い合わせ／柏崎刈羽原子力発電所サービスホール TEL.0120-344-053(9時～17時)

※2025年12月27日から2026年1月4日は、年末年始のため休館となります。



料金受取人払郵便



差出有効期間
2026年11月30日
まで

(切手不要)

郵便はがき

9458790

柏崎市青山町16番地 46

東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所
広報部 行



ふりがな 年齢 歳

お名前 男・女・回答しない

〒

ご住所

電話番号

ご記入いただきました内容については、商品の発送、紙面づくり等に利用いたします。また、個人情報については適切に管理いたします。(2025年12月号)

きりとり線



発電所で働く人 (2025年11月1日時点)

現在、柏崎刈羽原子力発電所で働いている人は6,642人です。
約8割が新潟県在住となっております。

■東京電力ホールディングス(人) ■協力企業(775社) (人)

県内 在住者	柏崎市	835	県内 在住者	柏崎市	2,278
	刈羽村	67		刈羽村	223
	その他	171		その他	1,421
県外在住者		116	県外在住者		1,531
《合計》		1,189	《合計》		5,453

ニュースアトムは、発電所広報施設(サービスホール、カムフィ、き・な・せ)に配置しています。ご自由にお持ちください。また、発電所ホームページでもご覧いただけます。



■今月号の表紙／「朝霧の鯖石川」

撮影場所: 柏崎市北条
撮影時期: 2021年12月



2025年12月7日発行

●編集発行責任者
東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所 広報部
企画広報グループマネージャー
〒945-8601
柏崎市青山町16番地46
☎0120-120-448
(平日9時～17時)

《検索》

柏崎刈羽原子力発電所

